

FCS1000Plus 16ch SD/HD-SDI, ASI(TS), IP Video エラー検出監視ユニットの初期設定概要

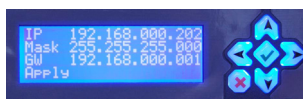
今回は、Nevion 社製品をご購入いただきましてまことにありがとうございました。本製品を、使用するにあたり以下の初期設定が必要になりますのでご一読ください。

1. マネージメント Ethernet ポートの IP アドレスの設定

FCS1000Plus の動作モニター及び設定には、web ベース HTML ブラウザを使用しますのでこの Ethernet ポートの IP アドレスを最初に設定します。（出荷時は、192.168.0.202 へに設定されていますが複数台同時納品の場合重複しないように異なるアドレスになっていますので LCD 表示をご確認ください。）設定方式は、前面 LCD パネル、ボタン、Telnet 接続、RS232 シリアルコンソール接続によって可能です。ここでは、一番シンプルな前面パネル LCD、ボタンによる設定を説明します。



中心チェックボタンを押して
NETWORK CONFIGメニューに入ります。



←→カーソルボタンを押して IP アドレス
桁に移動して↑↓カーソルで変更します。
Apply に移動してチェックボタン、最後に x
ボタンを押して完了です。

注) IP ストリーム用 Data ポートは、IP アドレスの設定等はありません。（Data ポートは、1000Base-T のみに対応しています。100Base-Tx ではリンクアップしません。PC やサーバーなどと直結接続は可能です。MDI/MDIX 自動検出でストレートケーブルで OK です。）

2. 時間、タイムゾーンの設定、NTP サーバー

ログ記録等のローカル時間は、内部バックアップ電源及び NTP サーバーとの同期により調整されます。NTP サーバー設定は、web ブラウザで設定できますが、タイムゾーン設定と NTP サーバー同期を使用しない場合の手動設定は、telnet または RS232 コンソール接続により設定する必要があります。



タイムゾーン

telnet でマネージメントポートへ接続します。ログイン ID は、**fsc** パスワードは、**password** です。

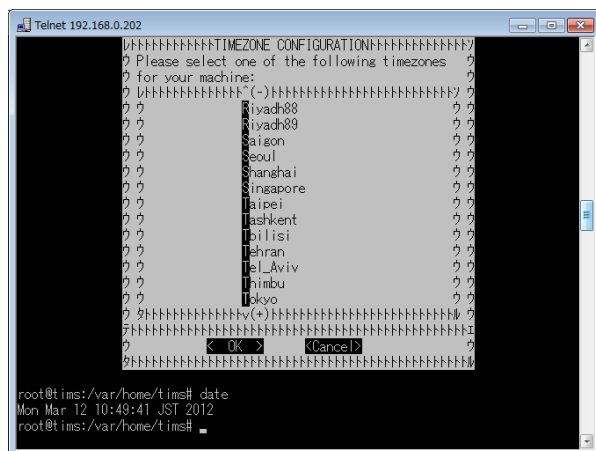
ログイン後、**root** ディレクトリへ移動するため **su** と入力してシステム設定のディレクトリへ移動します。

```
fcs@tims:~$ su
Password:
root@tims:/var/home/tims#
```

root ディレクトリへのパスワードは、**qazxsw** です。

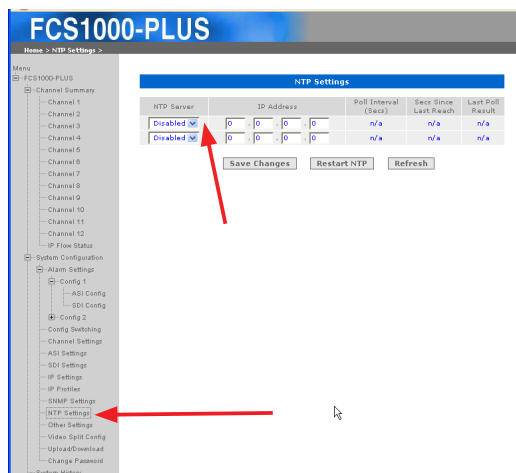
このディレクトリでタイムゾーン設定のコマンド `tzconfig` を入力します。

以下のタイムゾーン国別リストメニューより該当国名を選択します。



NTP サーバーの設定は、マネージメント Ethernet ポート（出荷時は、192.168.0.202 ～に設定されています。）へ接続し web ブラウザで行うことができます。メニュー System Configuration / NTP Setting で指定します。

Web ブラウザへのログイン ID/パスワードはデフォルトで **fcs / password** になっております。



3. 背面パネル

背面パネルには、ビデオ入力の BNC とステータスマニター出力 SD-SDI とコンポジットビデオ出力 BNC 16 input x Loopout + モザイクモニター出力 2 個 = 計 34 個を装備しています。

Ethernet ポートは、ステータスマニター用 management Ethernet ポート (10/100/1000Base-T) と SFP ケージに挿入された Copper SFP (1000Base-T)、アラームパ
ラレル接点出力の GPI 端子 (高密度 D-Sub24 ピン) が配置されています。



FCS1000Plus のビデオ入力は、ハイインピーダンス仕様です。ビデオ入力 BNC を使用する
際は、付属品の 75 Ωターミネーションを片方のループアウト端子に接続してください。又は、
他のビデオ機器 (75 Ω入力インピーダンス) へ廻すことも可能です。開放で使用しますと
ビデオ解析が正しくできない場合があります。

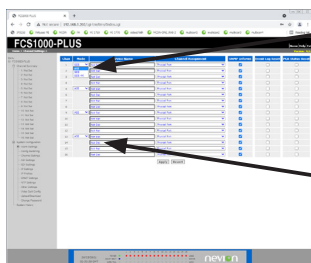
ステータスマニター出力ビデオは、NTSC/PAL の指定がありますので接続するモニターに合
わせてください。

AC 電源入力は、AC90 ~ 240V 対応ですので切り替え無しで使用可能です。電源スイッチは
ありませんので AC ケーブルの抜き差しで電源の ON/OFF をしてください。

4. 入力ソース種類設定

FCS1000Plus は、SDI, ASI(TS), IP-TS の 3 種類 (4K はオプション) の信号をモニター可能です。
4ch 1 ブロックのハードウェア構成になっており 1 ブロック毎に別々の設定が可能です。最
後のブロック 4 (BNC 端子 13 ~ 16) のみ IP ソースへの切り替えが可能でありソース入力
端子は BNC 端子 13 ~ 16 ではなく Ethernet DATA ポートになります。IP-TS からでカプセル
された ASI(TS) は、1 ~ 3 の ASI(TS) ブロックで入力ソースを IP に指定してモニターする
方式となります。

以下の通り 4 つのブロックの入力ソースを選択しそれぞれのエラー検出設定を行います。



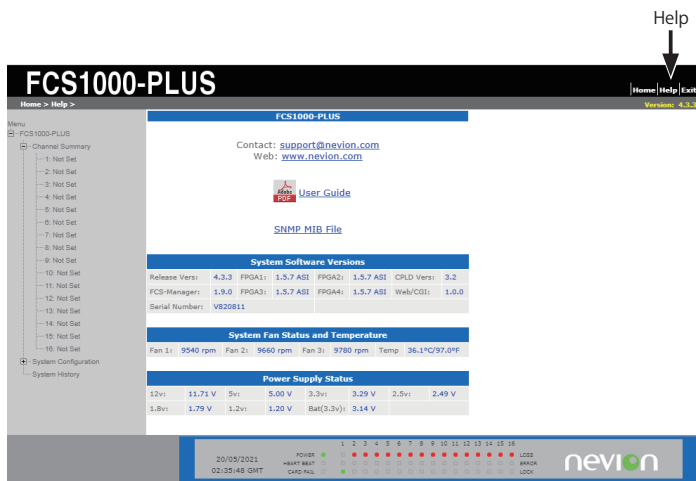
Chan	Mode
1	SDI
2	ASI
3	SDI 4K

Mode 選択、SDI 4K は、
3G-SDI オプションパッ
クブレンが必要です。

ブロック 4 のみ IP ソースが
選択可能です。

5. マニュアル、SNMP MIB ファイル

FCS1000Plus の英文マニュアルは、FCS1000Plus web アクセスの右上部 Help ページにリンクが記載（ファイルは FCS1000Plus 内蔵メモリ内に保存）されております。



輸入販売：ネットワークエレクトロニクスジャパン株式会社

〒 104-0041 東京都中央区新富 2-4-4 ソーエイビル 7F

TEL:03-5542-3260 FAX:03-3552-5070

www.network-electronics.co.jp

製造元本社：Nevion AS

Sandfjord（サンネフィヨル）/ Norway

製造：Nevion Manufacturing

Gdask/Poland